

保護者の皆様へ

横浜市教育委員会  
横浜市PTA連絡協議会

## 学校の先生の仕事改革へのご理解・ご協力をお願い (子ども一人ひとりを大切にした教育活動をもっとよくするために)

保護者の皆様には、いつも横浜の教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

教育委員会とPTA連絡協議会は、子ども一人ひとりを大切にした教育活動をもっとよくするために、学校の先生が授業の準備や子どもたちを助けることに集中し、元気に笑顔で子どもたちの前にいられるよう、学校と一緒に働き方改革に取り組んでいます。

現在の問題は、

- ICTを上手に使った授業など教育活動をもっとよくするためには、学校の先生が勉強する時間が必要
- 勤務時間の他に働く時間が1か月で80時間を超え、それが2か月連続になった学校の先生が2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)は2,798人  
※勤務時間の他に働く時間が1か月で80時間を超えると倒れてしまう危険があります。
- 35人クラスにするには学校の先生を増やす必要があるが、他の地域と同じで横浜市の学校の先生の試験を受ける人数も小中学校では毎年減っている

です。学校の先生の勉強する時間の確保、学校の先生の心と体の健康、皆さんに先生という仕事をもっと素敵な仕事と思ってもらえるよう、今の働き方をよくしていく必要があります。

そのため、学校の先生は、遅くとも19時には帰るように仕事をします。また、学校では、子どもたちや保護者・地域のことをよく考えながら、下の□のようなことを行ったり考えたりしています。

### 【例えば】

- ・ 1年間の授業の合計時間を守って、毎日の時間割や1年間の行事を工夫する
- ・ 運動会や文化祭、宿泊など、学校の行事を見直す
- ・ 学校の先生の代わりに部活動指導員が一人で部活動を教えたり、子どもたちと一緒に移動したりする
- ・ 部活動ガイドラインを守って活動する  
(活動する日数：平日4日、土日1日、活動する時間：平日2時間、土日約3時間) など

教育委員会とPTA連絡協議会は、地域・家庭・学校が協力して子どもたち一人ひとりを大切にした教育活動をもっとしていきます。保護者の皆様は、学校の先生の働き方改革について、ご理解・ご協力をお願いします。